

角田市スポーツ推進計画
前期アクションプラン
(H26～H30)

～平成27年度版～

角田市教育委員会

<目次>

1 はじめに

- (1) 角田市スポーツ推進計画について
- (2) 前期・後期アクションプランの策定の趣旨
- (3) PDCAサイクルについて

2 計画の具体的な実施(D)について

- (1) 重点施策
- (2) 重点施策と各施策との関連と効果的な実施について
- (3) 「25個の施策」の具体的な取組みについて

3 計画の進行管理(C)について

4 計画の評価(C)・改善(A)について

資料1 角田市スポーツ推進計画における「9つの数値目標」の進行管理表

資料2 角田市スポーツ推進計画「25個の施策」評価シート

1. はじめに

(1) 角田市スポーツ推進計画について

角田市スポーツ推進計画（H26～H35）は、「市民1人1スポーツ」を基本理念とし、角田市の現状・課題に対応するために3つの基本目標を掲げ、25個の施策ごとに具体的事業を展開し目標の実現を図ることとしております。

さらに、本計画を推進する上での進捗状況管理の指標として、9つの数値目標を定めております。

<計画の構成>

基本目標	現状・課題	9つの施策の方向	25個の施策	9つの数値目標
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	子どものライフスタイルの変化 角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る	・学校と地域におけるスポーツの推進	1 児童生徒の健康な身体作り 2 学校体育の充実 3 社会スポーツ環境の充実	①週1回以上スポーツを行う人(20歳以上)の割合 28%⇒35%
	働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少	・成人(働く世代)スポーツ活動の推進	4 スポーツ・レクリエーションへの参加促進 5 健康維持・体力向上・疾病予防のためのスポーツ推進 6 スポーツ活動の機会創出と交流の促進	②新体力テストにおける値が全国平均値以上の割合 2～3⇒5項目
	スポーツによる健康増進効果への注目	・高齢者のスポーツ活動の推進	7 高齢者団体の主催するスポーツ大会への参加促進 8 高齢者の健康・体力づくりの推進	③総合型地域スポーツクラブの参加人数の割合 全体 400人⇒800人 みんなの教室 323人⇒500人
	高齢化時代へ突入、医療費等の増大	・障害者のスポーツ参加支援の必要性が高まる	9 障害者スポーツ環境の充実 10 スポーツ・レクリエーション大会への参加促進	④スポーツ少年団の団数の増加と団員の増員 430⇒470 団員 26⇒30 団
地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	地域コミュニティの希薄化	・市民参加型のスポーツイベント活動の推進	11 市民参加型のイベントの推進 12 総合型地域スポーツクラブの充実 <u>13 スポーツ行政の改革</u>	⑤人々が交流する大会開催・誘致数の割合(全国・プロ) 3 ⇒ 5～6 試合
	スポーツによるコミュニティ機能、地域活性化機能への注目	・スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進	14 観戦スポーツ・トップアスリートとの出会いの推進 15 スポーツ交流の促進	⑥阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数の割合 2,300 ⇒ 2,500 人
	急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機	・競技スポーツの支援体制の未整備	16 競技団体の支援 17 指導者の育成 18 学校部活動の推奨	⑦市内大会以上の規模の大会の本市での開催数増加 130 ⇒ 135 試合
誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	ライフスタイル、個別のニーズの多様化 施設の老朽化	・公共施設の有効活用の促進と情報提供の整備	19 学校体育施設の開放事業の充実 20 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備 21 施設の安全と利便性の向上 22 スポーツ情報環境の整備・充実	⑧公共スポーツ施設の、年間延利用者数 210,000⇒270,000 人
	指導者の高齢化	・スポーツ活動の支援体制の充実	<u>23 スポーツ指導員の増員と指導者の質的向上</u> 24 スポーツボランティアの育成 25 スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援	⑨阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(体育協会以外の者) 50 人 ⇒ 70 人

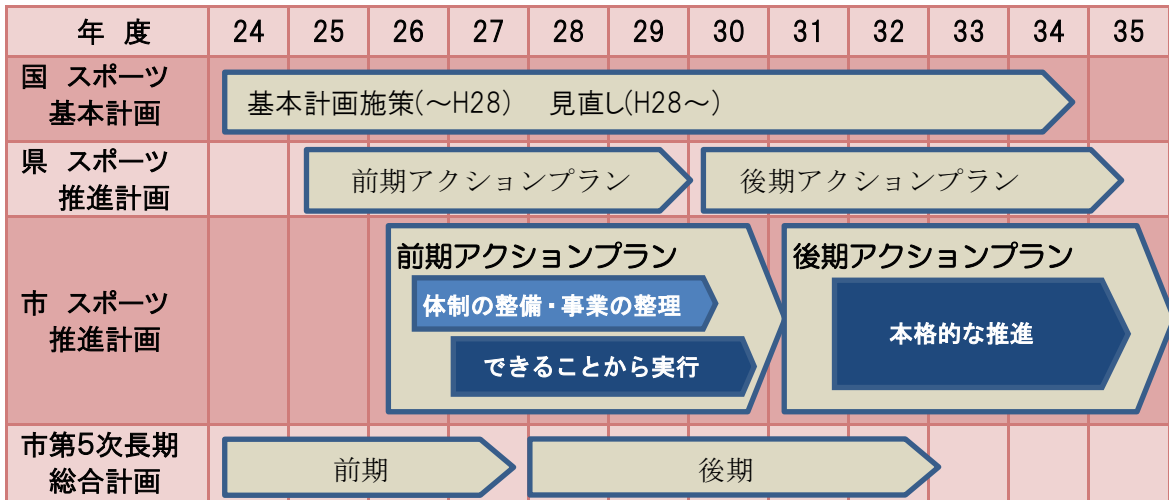
(2) 前期・後期アクションプランの策定の趣旨

本計画を推進するためには、その時々々の社会情勢を的確に把握し、優先度が高い取組みについて効果的かつ効率的に実施していくことが必要です。

そのため、計画期間の10年を5ヵ年ごとに区分し、計画を推進する体制の整備を重点施策と位置づけた「前期アクションプラン」と、計画の本格的な推進を重点施策と位置づけた「後期アクションプラン」を策定し、計画の着実な実行と推進管理を図ります。

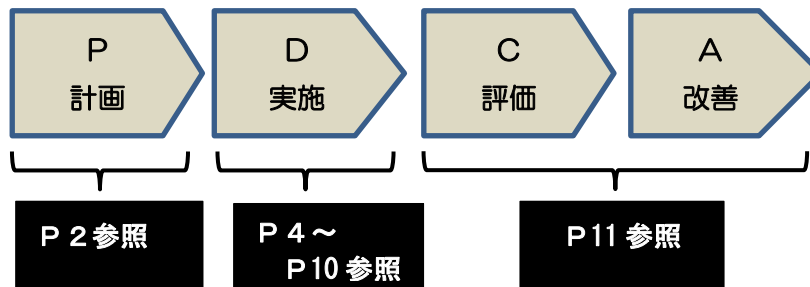
なお、アクションプランは、年度ごとに「〇〇年度改訂版」として更新していくこととします。

<前期・後期アクションプランのイメージ図>



(3) PDCAサイクルについて

本計画の推進のためには、PDCAサイクルにより適切な進行管理を行う必要があります。そこで、本計画の『25個の施策』ごとに、次のとおりPDCAサイクルで進行管理を行うこととします。



2 計画の具体的な実施(D)について

(1) 重点施策

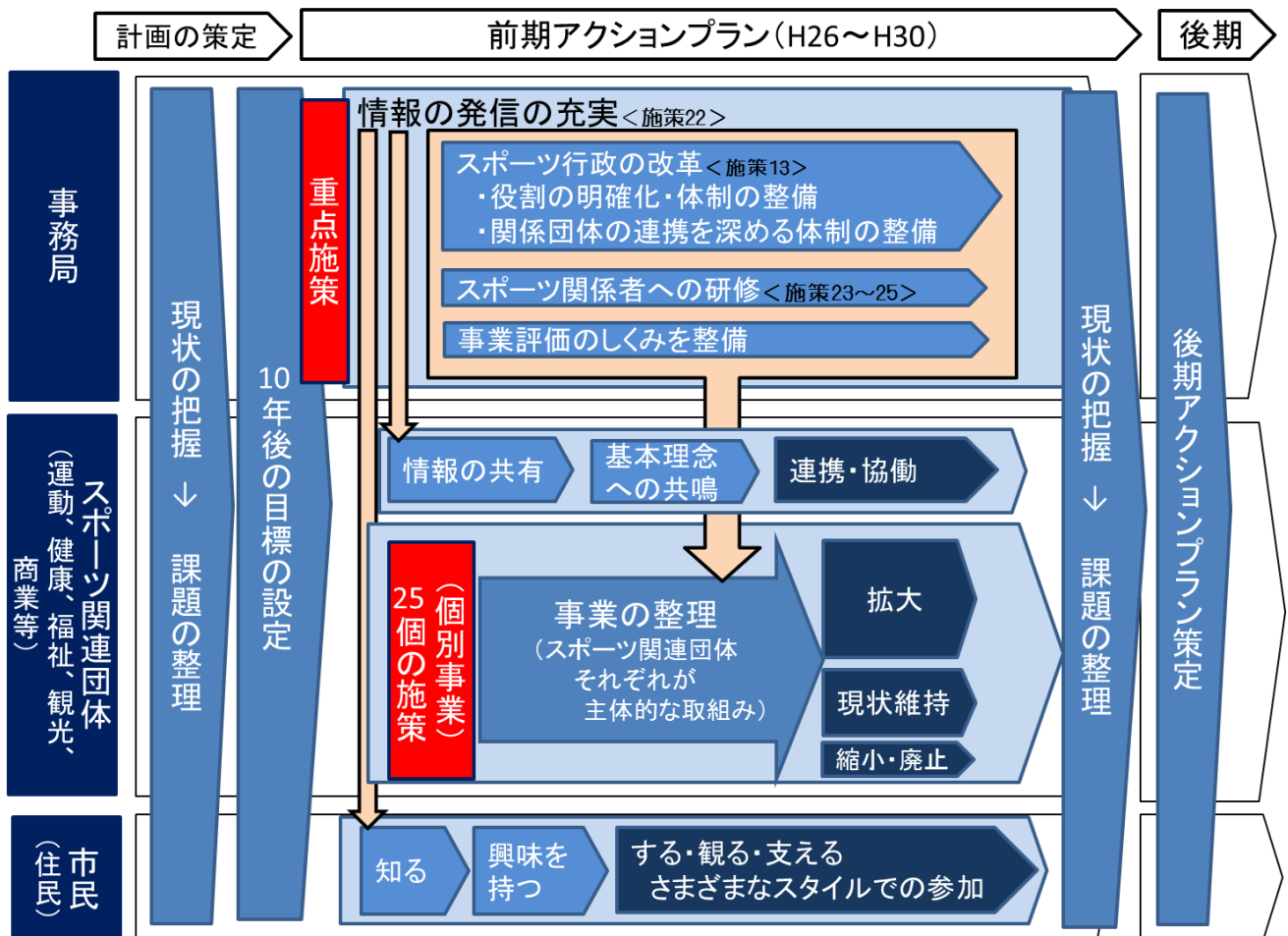
前期アクションプランでは、計画を効果的で、効率的に実施していくために25の施策のうち、全体に関わる施策を重点施策とし、優先的に取り組みます。

＜前期アクションプランの重点施策＞



(2) 重点施策と各施策との関連と効果的な実施について

計画の全体に関わる重点施策を、事務局である生涯学習課を中心に実施します。それにより、スポーツ関連団体へ本計画・基本理念の浸透をはかり、各事業の整理を主体的に行う風土を醸成し、本計画を実施していく体制を整備していきます。



(3) 『25個の施策』の具体的な取組みについて

市として取組みを3つの基本目標ごとに施策別に具体的事業を整理します。

なお、市で実施している事業のほか、市と幅広く連携を図っている団体が実施している事業についても掲載しております。

基本目標 1

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

数値目標

基本目標 1 における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目	当初	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30中間目標	～	H35目標値	
1	週1回以上スポーツを行う人(20歳以上)の割合	28%	⇒	⇒	⇒	⇒	31	⇒	35	
	内訳	20～50代(働く世代)	ほぼ毎日 週1回以上	5%						
		60代～(高齢者)	ほぼ毎日	15%						
			週1回以上	30%						
2	新体力テストにおける値が全国平均値以上の割合	11項目中2～3	10項目中2～8	⇒	⇒	⇒	10項目中4	⇒	10項目中5	
	参考	平均値以上の個数 体力総合点(右記の平均点/全国平均点)	市内小5男	3	52/54	6	54/54			
			市内小5女	2	52/55	8	56/55			
			市内中2男	2	36/42	3	40/42			
			市内中2女	3	42/49	2	47/49			
3	総合型地域スポーツクラブの参加人数の割合	400人 みんなの教室 322	462人 みんなの教室 348	⇒	⇒	⇒	600人 みんなの教室 410	⇒	800人 みんなの教室 500	
4	スポーツ少年団の団数の増加と団員の増員	団員 430 団数 26	団員 450 団数 25	⇒	⇒	⇒	団員 450 団数 28	⇒	団員 470 団数 30	

施策の方向ごとの個別事業

(1) 学校と地域におけるスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 子どものライフスタイルの変化により運動する機会の減少(運動習慣の二極化) 角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策1 未就学児から児童生徒の健康な身体づくりと体力・運動能力向上の推進	スポーツフェスティバル	子どもの体力・運動能力を向上させるため、体力・運動能力の実態を調査、分析し向上策を検討する。	○	→	→	→	→	→	体育協会
	こどもリレーカーニバル	競技を通じて基礎体力の向上を図るとともにスポーツに親しみきっかけ作りとする。		→	→	→	→	→	公社・体育協会
	みんなのスポーツ教室	総合型地域スポーツクラブ「スポコムかくだ」と連携し、各種スポーツの教室を開催、青少年の健全育成とスポーツに親しみやすい機会を提供する。	○	→	→	→	→	→	生涯学習課・スポコム・公社
施策2 学校体育の充実	(検討)	(学校におけるスポーツ活動の現状を分析し、学校体育の充実させる方法及び学校を活用したスポーツ活動の推進について検討します)			検討	→	→	→	教育総務課 生涯学習課
施策3 社会スポーツ環境の充実(子ども関係)	スポーツ少年団の事務局支援	スポーツ少年団本部の事務局支援を行うことで、地域における子どものスポーツ活動の推進を図ります。	○	→	→	→	→	→	公社・スポーツ少年団
	スポコムかくだの事務局支援	スポコムかくだの事務局支援を行うことで、地域における子どものスポーツ活動の推進を図ります。	○	→	→	→	→	→	公社・スポコムかくだ
	スポーツ体験広場	スポーツ交流館を、夏休みの一定期間無料開放し、小学生が気軽にスポーツを楽しむ環境を提供する。			新	→	→	→	公社・スポーツ推進委員
	トップアスリート派遣事業の活用	トップアスリートによる子どもたちのスポーツ教室を開催することで、子どもたちに夢と希望を与え、スポーツ環境の充実を図る。		→	→	→	→	→	体育協会・公社・生涯学習課

(2) 成人(働く世代)のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少 スポーツによる健康増進効果への注目が集まる
----	---

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策4 スポーツレクリエーション祭への参加の促進	スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起する本大会の充実を図る。		→	→	→	→	→	公社・生涯学習課
	地区民球技大会・運動会	角田市地区民球技大会やスポーツレクリエーション大会の充実化を図り、また、各競技団体主催の大会を支援し更に親しまれ地域に密着した大会とする。	○	→	→	→	→	→	各自治センター
	市P連バレー	角田市父母教師会連合会が、会員の健康保持・増進、会員相互の親睦を図ることを目的としてビニールボール大会を開催		→	→	→	→	→	角田市父母教師会連合会
施策5 健康・体力維持向上・疾病予防のためのスポーツ・運動の推進	ウォーキング推進事業(ウォーキング講座)	体組成計やライフレコーダー等の媒体を活用し、自分自身の身体を知り、生活スタイルを振り返り運動の意識を高める。安全かつ効果的なウォーキングの技術を習得	○	新規	→	→	→	→	健康推進課
	角田市健康ポイント事業	市が主催し、または関係する健康づくり事業に参加した者に対してポイントを付与(ためトカードに交換)することにより、市民の当該事業への参加率を高め、健康に対する意識の向上及び健康の保持増進を図る。		拡充	→	→	→	→	健康推進課
	運動のつどい事業	健康づくりとなる運動についての講座を年12回程度開催し、運動普及推進委員を育成し、運動のつどい等の開催する。	○	→	拡充	→	→	→	健康推進課
施策6 スポーツ活動の機会の創出と交流の促進	各種スポーツ教室の開催	スポーツ教室等を開催し、気軽に簡単に運動を行える機会を提供することで運動の習慣化を図り、健康づくりの促進を目指す。(公社:体と心のリフレッシュ体操教室、ノルディックウォーキング教室等)(スポコムかくだ:成人スポーツ教室)		拡充	拡充	→	→	→	生涯学習課・体育協会・スポコム・公社・スポーツ推進委員
	地区民球技大会・運動会	角田市地区民球技大会やスポーツレクリエーション大会の充実化を図り、また、各競技団体主催の大会を支援し更に親しまれ地域に密着した大会とする。	○	→	→	→	→	→	各自治センター
	(検討)	(成人スポーツの現状を分析し、課題を整理し、成人スポーツ活動を推進させる方法について検討します)			検討	→	→	→	

(3) 高齢者のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢化時代の突入、医療費等の増大 スポーツによる健康増進、健康寿命の延伸効果への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策7 高齢者団体の主催する講習会やイベント及びスポーツ大会への参加促進	老人スポーツ大会	スポーツを通じて健康の保持、増進と相互の親睦を図るとともに、一般市民の老人に対する深い理解と関心の高揚を図り、老後の生活を健全で豊かなものにし、明るい社会の構築に寄与する。		→	→	→	→	→	社会福祉課・社協
	シニアスポーツ大会	「健康をすすめる運動」の一環として、スポーツを通じて健康づくり、仲間づくりを図る。		→	→	→	→	→	社会福祉課・社協
施策8 高齢者の健康・体力づくりの推進	高齢者教育事業	高齢者が趣味を通じてふれあいと交流、仲間づくりを促進し、生きがいを求めるとともに、健康保持の増進を図り、地域づくりに参加する。		→	→	→	→	→	各自治センター
	ウォーキング推進事業(ウォーキング講座)	体組成計やライフレコーダー等の媒体を活用し、自分自身の身体を知り、生活スタイルを振り返り運動の意識を高める。安全かつ効果的なウォーキングの技術を習得できる。	○	拡充	→	→	→	→	健康推進課
	ゲートボールコート等整備助成事業	地域内で、老人クラブ等が管理・利用している主にゲートボール場やグラウンドゴルフのコースを整備する際に、その費用の一部を助成する。1件につき1万5千円を限度。		→	→	→	→	→	社協

(4) 障害者のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 障害者のスポーツの多様な役割を鑑み、その必要性が一層増している。
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策9 障害者のスポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	各施設や設備の機能や利用形態を見極め、老朽化対策・耐震対策/バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める	○	→	→	→	→	→	土木課・生涯学習課・公社
施策10 スポーツ大会・レクリエーションへの参加促進	身体障害者体育大会	スポーツに慣れ親しみながら残存機能を鍛え、ふれあいから仲間意識と生きる喜びを体得することを目的とする。		→	→	→	→	→	社会福祉課・社協

基本目標 2

地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進

数値目標

基本目標 2 における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目	当初	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 中間目標	～	H35 目標値
5	人々が交流する大会開催・誘致数の割合(全国・プロ)	3 試合	4	⇒	⇒	⇒	4	⇒	5～6
	内訳	ねんりんピック(3日間)	なでしこ L 2 JFL 2試合						
6	阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数の割合	2300 人	2,631	⇒	⇒	⇒	2,400	⇒	2,500
7	市内大会以上の規模の大会本市での開催数の増加	130 試合	98	⇒	⇒	⇒	132	⇒	135

施策の方向ごとの個別事業

(1) 市民参加型のイベントスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの希薄化 ・スポーツによるコミュニティ活性化機能（地域社会醸成機能）への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策11 市民参加のイベントの推進	地区民球技大会・運動会	角田市地区民球技大会やスポーツレクリエーション大会の充実を図り、また、各競技団体主催の大会を支援し更に親しまれ地域に密着した大会とする。	○	-	-	-	-	-	各自治センター
	阿武隈リバーサイドマラソン大会	走ることへの興味・関心を高め、走りに関わる喜びから笑顔を生み出し、さらには交流人口拡大に向けて、活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。	○	-	-	-	-	-	体育協会・公社・市・教委
	ゴルフ場、パークゴルフ場を利用した各種大会の実施	愛好者の交流、健康増進、体力の維持増進を図りながら、競技の普及さらに施設の利用促進を図る。	-	-	-	-	-	-	公社
	スポーツ振興事業助成金の交付(各種スポーツ大会の開催に関する事業)	市における体育及びスポーツの振興を図り、もって市民の体位向上とスポーツ精神の高揚及び体育指導者の育成に資するため設置されているスポーツ振興基金の目的を達成するために実施されるスポーツ振興事業に対し助成金を交付する。	○	-	-	-	-	-	生涯学習課
施策12 総合型地域スポーツクラブの充実	スポーツフェスティバル	子どもの体力・運動能力を向上させるため、体力・運動能力の実態を調査、分析し向上策を検討する。	○	-	-	-	-	-	体育協会
	(検討) 新たなプラットフォームの整備	(スポーツ無関心層への有効的な働きかけが期待できる新たなプラットフォーム(スポーツ活動とスポーツ以外の活動を同じ空間で実施する取組み等)について検討する)			検討	-	-	-	生涯学習課
	総合型地域スポーツクラブの支援	クラブ運営を支援し、指導者や必要な人材の育成を図る。クラブの情報の共有や周知活動や事業に要する経費を考慮するなどし、スポーツの振興を図る。	-	-	-	-	-	-	公社・生涯学習課
施策13 スポーツ行政の改革【重点施策】	みんなのスポーツ教室	総合型地域スポーツクラブ「スポコムかくだ」と連携し、各種スポーツの教室を開催、青少年の健全育成とスポーツに親しみやすい機会を提供する。	○	-	-	-	-	-	スポコム・公社
	公社スポーツ事業の移管	これまで教育委員会が実施していたスポーツ振興に関する事業を、(公財)角田市地域振興公社へ移管することにより、より一層の事業の拡大・質の向上を図る。			新規	→	-	-	生涯学習課 政策企画課
	HP、広報誌の充実	市民がスポーツ情報を分かりやすく把握できるように、各種団体と連携を図りながら、広報誌やホームページを活用し、イベント・講座・施設等の情報を提供する。これら定期的に発信できるように検討する。	○		重点	→	-	-	公社・陽光センター・生涯学習課
	スポーツ関係部署、団体の連携深めるための体制整備	地域づくりや健康づくりなどスポーツの持つ多様な力を発揮するため、健康・福祉・観光・商業等の市役所担当部署、関係団体が、役割を明確化し、連携を深めるための体制を整備			重点	検討	→	-	すべてのスポーツ関係団体

(2) スポーツミッション・スポーツツーリズムの推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機が予想される ・スポーツによる地域活性化機能（観光、地域経済）への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策14 観戦スポーツ及びトップアスリートとの出会いの推進	ベガルタ仙台レディースの支援	角田市でホームゲームを開催するベガルタ仙台レディースを支援し、ベガルタ仙台レディースとともにサッカーを核としたスポーツ文化の振興、青少年の健全育成及び地域の活性化に寄与する。		-	-	-	-	-	ベガルタ仙台協議会・政策企画課
	トップアスリート派遣事業の活用	ジュニア年代の競技者育成コースの事業拡大、その地域に根付いている種目の競技力向上を図るための事業拡大、地域の特性をいかしたクラブ事業展開を目的とする。		随時	随時	随時	随時	随時	体育協会・公社・生涯学習課
施策15 スポーツ交流の促進	相馬市・角田市親善柔道大会	歴史的に深いつながりをもつ相馬市と角田市は、昭和33年角田市市制施行を契機に発足した親善柔道大会をとおり、より一層の親善融和を深めるとともに、柔道の技能の向上・充実を図る。	○	-	-	-	-	-	体育協会・生涯学習課
	スポーツ施設の整備	各施設や設備の機能や利用形態を見極め、老朽化対策・耐震対策バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める	○	-	-	-	-	-	土木課・生涯学習課・公社
	合宿所・研修所の整備	スポーツを対象としたスポーツ交流館の整備と利用向上を進め、市内外からの誘客に努める。	○	拡充	-	-	-	-	生涯学習課・公社
	(検討)	(阿武隈リバーサイドマラソン、新たな大会等について角田市におけるスポーツミッション・スポーツツーリズムについて調査・研究を行う。)			検討	-	-	-	

(3) 競技スポーツの支援

現状	・競技スポーツ支援が体系的に整備されているとはいえない。
----	------------------------------

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策16 競技力向上を図る競技団体の支援	スポーツ振興事業助成金の交付(各種大会への出場に関する事業)	市における体育及びスポーツの振興を図り、もって市民の体位向上とスポーツ精神の高揚及び体育指導者の育成に資するため設置されているスポーツ振興基金の目的を達成するために実施されるスポーツ振興事業に対し助成金を交付する。	○	-	-	-	-	-	生涯学習課
	スポーツ大会の開催	体育の日を記念し、市民を主対象としたスポーツ大会を開催することにより、スポーツを通じた市民福祉の向上と市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起し、生涯を通じたスポーツ活動の振興に寄与する。		-	-	-	-	-	体育協会加盟団体
施策17 指導者の育成	スポーツ振興事業助成金の交付(指導者養成に関する事業)	市における体育及びスポーツの振興を図り、もって市民の体位向上とスポーツ精神の高揚及び体育指導者の育成に資するため設置されているスポーツ振興基金の目的を達成するために実施されるスポーツ振興事業に対し助成金を交付する。	○	-	-	-	-	-	生涯学習課
施策18 学校部活動の推奨と練習会や合宿の奨励	合宿所・研修所の整備	スポーツを対象としたスポーツ交流館の整備と利用向上を進め、市内外からの誘客に努める。	○	-	-	-	-	-	生涯学習課・公社
	HP、広報誌の充実	市民がスポーツ情報を分かりやすく把握できるように、各種団体と連携を図りながら、広報誌やホームページを活用し、イベント・講座・施設等の情報を提供する。これら定期的に発信できるように検討する。	○	-	-	-	-	-	公社・陽光センター・生涯学習課
	運動部外部指導者派遣事業	中学校・高等学校の運動部活動において教員の技術指導の補完を行うため、学校と地域の連携により、地域に在住するスポーツ指導者やスポーツ経験者等を「運動部活動外部指導者」として派遣し、運動部活動の工夫・改善・充実及び教員の指導力向上を図る。		-	-	-	-	-	教育総務課

基本目標3

誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備

数値目標

基本目標3における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目	当初	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30中間目標	～	H35目標値
8	公共スポーツ施設の年間延べ利用者数(学校施設を含まない)	210,000人	233,147	⇒	⇒	⇒	235,000	⇒	270,000
	総合体育館	62,386	65,517						
	陸上競技場	36,078	38,083						
	屋内温水プール	57,616	70,691						
	テニスコート	15,178	17,923						
	野球場	13,202	10,598						
	デートボール場	282	387						
	芝生広場	10,984	3,289						
多目的運動場	13,812	12,272							
スポーツ交流館	(12,931)	14,387							
9	阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(体育協会以外の者)	50人	57	⇒	⇒	⇒	60	⇒	70

施策の方向ごとの個別事業

(1) 施設の有効活用の促進と情報提供の整備

現状	<ul style="list-style-type: none"> 市民のライフスタイル、ニーズの多様化 施設の老朽化
----	--

(2) スポーツ活動の支援体制の充実

現状	<ul style="list-style-type: none"> 指導者等の高齢化 スポーツに期待される機能・役割の拡大に伴う知識、人材の不足
----	---

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策23 スポーツ指導者の増員と質的向上 【重点施策】	スポーツ推進委員活動事業	専門的知識や技能の研修会、及び講習会の開催や、県並びに大学等の研修会・研究会への参加を促進し質的向上を図る。		重点	一	→	→	→	生涯学習課
	スポーツ指導者養成講習会等の開催	幼少期から、スポーツに必要な様々な動きを取り入れるため、コーディネーショントレーニング等、各種講習会を開催することにより指導者としての質的向上を図る。		重点	一	→	→	→	公社・スポーツ少年団・生涯学習課
施策24 スポーツボランティアの育成 【重点施策】	阿武隈リバーサイドマラソン大会	走ることへの興味・関心を高め、走りに関わる喜びから笑顔を生み出し、さらには交流人口拡大に向けて、活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。	○	重点	一	→	→	→	体育協会・公社・市・生涯学習課
施策25 スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援 【重点施策】	運動のつどい(運動普及推進員による運動指導)	現運動普及推進員の技術力アップと運動普及推進員の養成を目的に、講座を開催し、基本的な知識や技術を学ぶ。	○	重点	拡充	→	→	→	健康推進課
	健康づくり推進サークル連絡会	健康づくりは個人だけの問題ではなく、個人を取り巻く社会全体で考えていく必要がある。健康づくりに関心のある団体による連絡会を立ち上げ、健康づくり運動の普及・推進を図る。		重点	廃止				健康推進課
	スポーツ振興事業助成金の交付(スポーツ団体の育成に関する事業)	市における体育及びスポーツの振興を図り、もって市民の体位向上とスポーツ精神の高揚及び体育指導者の育成に資するため設置されているスポーツ振興基金の目的を達成するために実施されるスポーツ振興事業に対し助成金を交付する。	○	重点	一	→	→	→	生涯学習課
	体育協会、スポーツ少年団本部、スポコムかくだの事務局支援	事務局支援を行うことによって、各団体の育成を図る。		重点	一	→	→	→	公社
	スポーツ交流館でのスポーツ団体支援	スポーツ交流館において、スポーツ団体等の活動支援を行う。		重点(新規)	一	→	→	→	公社
	(検討) スポーツ関連団体への研修	スポーツに期待される新しい役割・機能(新しいスポーツ文化)について関連団体を対象とした研修を開催する。		重点(検討)		実施	→	→	生涯学習課等

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策19 学校体育施設の開放事業の充実	学校体育施設開放事業	スポーツの普及並びに児童及び生徒の安全な遊び場の確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で、児童、生徒その他一般市民の利用に開放する。	→	→	→	→	→	→	教育総務課 生涯学習課
施策20 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備	スポーツ施設の整備	各施設や設備の機能や利用形態を見極め、老朽化対策・耐震対策バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める	○	→	→	→	→	→	土木課・生涯学習課・公社
	合宿所・研修所の整備	スポーツを対象としたスポーツ交流館の整備と利用向上を進め、市内外からの誘客に努める。	○	拡充	→	→	→	→	生涯学習課・公社
	老人スポーツ施設整備事業	地域内で、老人クラブ等が管理・利用している主にゲートボール場やグランドゴルフのコースを整備する際に、その費用の一部を助成する。1件につき1万5千円を限度。		→	→	→	→	→	社協
施策21 施設の安全性と利便性の向上	スポーツ施設の整備	各施設や設備の機能や利用形態を見極め、老朽化対策・耐震対策バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める	○	→	→	→	→	→	土木課・生涯学習課・公社
施策22 スポーツ情報環境の整備・充実	情報発信の充実	生涯学習課からスポーツ関連団体へ情報発信を充実させる。とくにスポーツ推進計画関連についての情報発信を継続し、その理念の浸透を図る。		重点	一	→	→	→	生涯学習課
	スポーツプレスかくだの発行	角田・伊具地区のスポーツ活動をまとめた情報誌の定期的な発行を行い、スポーツの推進を図る。		重点	一	→	→	→	スポコムかくだ
【重点施策】	スポーツ交流館事業	スポーツ情報コーナーを充実させ情報を発信するとともにスポーツに関する相談業務を行う。さらに、スポーツ施設の利用調整等も行う。		重点(新規)	一	→	→	→	公社

3 計画の進行管理（C）について

毎年度、数値目標に対する結果を一覧表（資料1）で確認することにより、計画の進捗状況を把握します。

4 計画の評価（C）・改善（A）について

基本目標ごとに作成した評価シート（資料2）を用い、毎年度『25個の施策』の評価を行い、施策ごとに課題を明確化し、今後の事業に反映させます。

（1）評価の概要及びスケジュール

- ① 事務局（生涯学習課）が事業の実施団体と情報を共有し、評価シートを作成。
なお、評価区分は、次のとおりとします。

- ◎：達成（評価年度の進捗状況が、すでに H30 の中間目標を達成している）
- ：計画どおり進捗（評価年度の進捗状況が、計画通り）
- △：進捗が不十分（評価年度の進捗状況が不十分）
- ×：未実施

※評価の単位は、施策の方向性ごととします。ただし、重点施策については、より詳しく評価できるように施策単位で行います。

- ↓
- ② 第2回スポーツ推進審議会へ評価シートを諮問。委員から意見聴取
- ↓
- ③ 第3回スポーツ推進審議会にて、意見を整理の上、教育委員会へ答申
- ↓
- ④ 答申を踏まえ、教育委員会が最終評価を確定。今後の事業に反映

<審議会での評価に関する年間スケジュール概要>

開催	内 容
第1回5月下旬	・ 9つの数値目標の実績報告（資料1） ・ 今年度のスポーツ関連事業報告
第2回8月	・ 評価シート（資料2）を諮問。意見聴取
第3回10月	・ 評価シートへの意見を整理、教育委員会へ答申 ・ 評価を踏まえ、次年度事業の検討

**角田市スポーツ推進計画
前期アクションプラン
(平成27年度版)**

平成27年9月発行

編集・発行

角田市教育委員会生涯学習課

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館10

TEL:0224-63-2221 FAX:0224-63-5633

e-mail:syougaku@city.kakuda.miyagi.jp